

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-29

明治二十年第三百九拾六号

(発行年 / Year)

1910

明治廿年才三百九十六号

裁判言渡書

控訴人大阪府東区北濱三月

五十三番地字民紙高

板谷佐七

曰曰露郡難波村六十九番地

平民賃物業

槽恒仔三郎

代言人曰東区北濱五月三十七番

地字留平民

竹中龜二郎

被控訴人曰南区松屋所十三番

大阪控訴院

地平民能高

陸田新兵衛

右板谷佐七外言名ヲ陸田新兵衛ニ係

聚金取戻並訴訟入費請求ノ訴訟并大阪

治審裁所所九言廢シタハ裁判ノ股ハス

板谷佐七外言名ヲ控訴シ為シタルニ依リ

之ヲ審理シ双方ノ陳述ヲ聴クニ其要ノ覆天

ノ如シ

控訴代言人陳述ノ趣旨ハ板谷佐七ノ外妻

タハ川口ツナノ為メニ川口ツナヲ松屋所

濱井八番ニ建設シアル柳馬ヲ傳授ケ

甲分一戸証如ク敷金三百円ヲ相領ケ

置キ其後十八年十月中該捕房ヨリ弟處シ
 タルモノカ其敷金ヲ返度セザレト依リ
 出訴ノ未甲亦二号証如ク直者ノ裁判
 ヲ受ケ之ヲ執行スルカ爲メ甲亦三号証
 如ク該物件ヲ押ノ年合書ヲ受ケシ
 處其西之ヨリ前ヨリテ該物件ハ「カ」
 カ履債ノ爲メ公賣付セラシ一旦川口ヤ
 シ後レシタルモノ全請相成ラザレヨ
 被控訴人ハ後レシタルモノナレ被控訴人カ
 該物件ヲ押ノ「カ」登記佐所ト申
 シタル後ニ至リ被控訴人ハ所有トナリ
 シ「カ」控訴人ハ該公賣ノ情所ニ至リ

大阪控訴院

敷金三兩四アル「カ」入札人ト知ラシメ
 タレト依リ被控訴人カ其部外ヲ見込
 入札シタルト初邊ナシ「カ」該物件
 附送シタル訴訟ノ費ノ償却ヲモ相受ケ
 「カ」當此ナレ「カ」以テ之カ覆審ヲ仰ク
 被控訴人ハ其部外ノ「カ」十七年二月
 亦「カ」乙才ニ「カ」証如ク川口「カ」
 對シ「カ」九兩目「カ」貸借シタルモノ
 其「カ」之「カ」初知「カ」乃シタル
 未該証「カ」長ノ
 公証アル「カ」以屋抵當ノ証書ナレ「カ」其
 該物件「カ」公賣「カ」付々「カ」下「カ」結局
 「カ」以「カ」亦年三月「カ」裁判取「カ」該公

受ノコヲ揚示セラシ程控訴ノモ共
 入札ヲナシタル上金千三百圓ヲ以テ買得
 シタルモノナリ而シテ該公賣ノ揚示中ニ數
 金云々ノコハ其日記載ナキニテナラズ
 公賣ノ揚示ニ於テモ亦數金アルコト受シ
 コトキコトヲ以テ金多ク見込ニ入札スル謂レ
 ナレトモ其証ハ何レモ被控訴人ノ關係
 ナクモコトシテ訴訟ノ費ハ如キハ強ク之
 關係ノモノナレハ無論償却スル謂レナク
 到底公裁判ノ認可ヲ乞フコトナリ
 依テ公擧ヲ審閱シテ 陪々聽キ後
 スル也ノ如ク

大阪控訴院

控訴人カ本訴所争ノ拂揚ニ對シ甲乙
 二名ノ証如キ裁判ヲ受ケタル於テハ該
 物件ヲ公賣シ其賣價ノ切欠ハ其賣價
 裁判所ニ申立該公賣揚示中ニ之カ
 所記ヲ求メキハ當時ナレハ當時其後
 乙ナカハルコトナラス公賣ノ揚示ニテ
 金云々ノコヲ入札人、知ラシメントナ
 全ク口頭ニ証ノ據来ニテ物スル觀シハ
 當時其ノ共テアリシコトニ認スルコト
 得ク而シテ甲乙二名ノ証ノ年令書ハ
 該物件ヲ公賣ニ付セラシタル數日ノ後ニ

係レルモノトシテ 被控訴人ノ為レハ其後
 前ニ入レシモノアリ又ハ以前ノ入レシ對シ
 其後ノ入レシモノナレハ後令其後ノ
 違ハ控訴人カ甲分三号ノ記ノ年令者
 之ヲ登記後存ハ登記シタル後令
 之ヲ知得シテ入レシタル事實ニアラサルヤ
 明瞭ナリトス古スレハ甲分一二号ノ
 為令ニ被物件ヲ公賣ニ付セラルル
 旨ノ際シカモ若シ對スルノ權利ヲ失
 シタルモノト謂フ一ツミテ尋常ノ公賣
 ノ係リ被物件ヲ買得セレ被控訴人
 對シ之ヲ請求スルカウナルモノトス

大阪控訴院

右ノ理由ナクテ所ノ判味ニテ以テ
 及ビ原告審判取カハ其亦年七月
 九日言及シタル審判結果同相當
 ナレヲ以テ之ヲ認可ス被控訴人
 越方不相立等ト心付レシ
 但シ控訴ノ入基モ控訴之ヲ負担スレ
 以テ亦年十月九日原告公達ニ於テ原告
 裁判ヲ言及者

大阪控訴院民事部第一局

評定官 近重八朗 彦
 評定官 井上 操
 評定官 青柳 安成

方記
加藤重三郎

大阪控訴院